

## 旧佐世保市立八幡小学校沿革史概要

明治 7 年 9 月 15 日	佐世保谷郷の庄屋跡に佐世保小学校創設。（上等小学科 4 年・下等小学科年）。
明治 19 年 9 月	小学校令の施行により、尋常佐世保小学校に改称。
明治 20 年	尋常佐世保小学校を佐世保尋常小学校と改称。
明治 22 年 4 月	町村制の施行により、東彼杵郡佐世保村立の小学校となる。
明治 23 年 9 月	八反間免字松の間（後の佐世保市公会堂敷地）に校舎を新築し移転を完了。元の校舎は長崎県第十二高等小学校として使用される。
明治 25 年	長崎県第十二高等小学校の廃止により、高等科を併置の上、佐世保尋常高等小学校に改称。
明治 30 年 1 月 2 日	校舎 2 棟が類焼したため、兵舎を借用し授業を実施。
明治 31 年 4 月	佐世保尋常高等小学校が佐世保尋常小学校（男子校）、佐世保高等小学校（男子校）、佐世保女子尋常高等小学校の 3 校に分割される。
明治 35 年 4 月 1 日	佐世保市の発足により、佐世保市立の小学校となる。
明治 37 年	佐世保高等小学校が戸尾に校舎を新築し移転を完了（後の戸尾小学校）。
明治 41 年 4 月	小学校令の改正により、義務教育年限（尋常小学校の修業年限）が 4 年から 6 年に延長される。
明治 42 年	佐世保尋常小学校を八幡尋常小学校に改称。
大正 11 年 8 月	八幡尋常小学校と八幡女子尋常小学校を統合の上、高等科を増設し、八幡尋常高等小学校と改称。
昭和 16 年 4 月 1 日	国民学校令により、佐世保市八幡国民学校と改称。尋常科を初等科と改称。
昭和 20 年 6 月 29 日	佐世保空襲により、校舎が全焼。
7 月 16 日	校区内の公民館・寺院・民家を借用し分散授業を開始。
10 月 1 日	保立国民学校とともに、焼失を免れた大久保国民学校に移転。一度に授業は行えないため、時間をずらして二部授業が行われる。
昭和 22 年 4 月 1 日	学制改革（六・三制の実施）により、旧・八幡国民学校初等科を改組し、佐世保市立八幡小学校が発足。
昭和 23 年 3 月 31 日	休校となり、児童は佐世保市立大久保小学校に転籍となる。
昭和 29 年 4 月 1 日	佐世保市保立町 83 番地の元長崎県立佐世保工業高等学校の校舎を改修した上で佐世保市立八幡小学校が再開。
昭和 30 年 4 月 20 日	給食を開始。
昭和 36 年 2 月 25 日	鉄筋コンクリート造 3 階建て校舎（9 教室、第一期工事）が完成。
昭和 37 年 3 月 27 日	鉄筋コンクリート造 3 階建て校舎（6 教室、第二期工事）が完成。
昭和 41 年 7 月 16 日	プール竣工。
昭和 43 年 2 月 1 日	図書館教育優秀校として文部大臣賞受賞。
昭和 44 年 4 月 1 日	ことばの教室開設。
昭和 49 年 9 月 15 日	創立 100 周年記念式典。
平成 14 年 10 月 30 日	八幡小・保立小統合準備委員会発足
平成 16 年 3 月 31 日	130 年の歴史に幕を下ろし、閉校。
8 月 27 日	校舎解体、清水小学校の新校舎建設開始。